

(様式)

平成 29 年度 新技術導入経営改善実証展示ほ 成果情報

コンテナ栽培によるりんどうの連作障害対策技術確立

要約

コンテナ栽培により 1 a 当たり 1,500 本（2 年目）が出荷された。欠株率は低かったが、ステムが細く品質が落ちたことから、収量を確保するためには、肥培管理及び遮光方法についてさらに検討する必要がある。

○ 展示のねらい

鹿沼市でりんどうの連作障害等の回避のためコンテナ栽培の取組が始まっている。そこで、コンテナ栽培による技術の確立を図り、効果について経営的評価を実施する。

展示内容 りんどうコンテナ栽培の経営的評価を行う。

コンテナ栽培による切り花品質と収量を確認し、収益性を検証する。

○ 主な成果

| | 出荷本数 (本) | 等級割合 (%) |
|-------|-------------|-------------|
| 優80cm | 221 | 14 |
| 優70cm | 398 | 25 |
| 優60cm | 496 | 32 |
| 優50cm | 447 | 29 |
| 合計 | 1562 | |



収穫直前の様子（H29.6）

出荷は 6/2～20 で出荷ピークは 6/11 だった。
出荷本数は、1 a 当たり 1,500 本で、80cm は 14% となり、ステムの細いものが多かった。

経営面では、1 a 当たり経営費は 7.5 万円、
経営費は 5.2 万円で所得率は 32% となった

○ 今後の方向性

欠株が少なく本数が確保できるが、肥培管理、遮光管理を適切に行わないとステムが細くなるので十分に注意する必要がある。

実施機関：上都賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：鹿沼市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315